上海かわら版

上海日本人学校浦東校
野田　剛

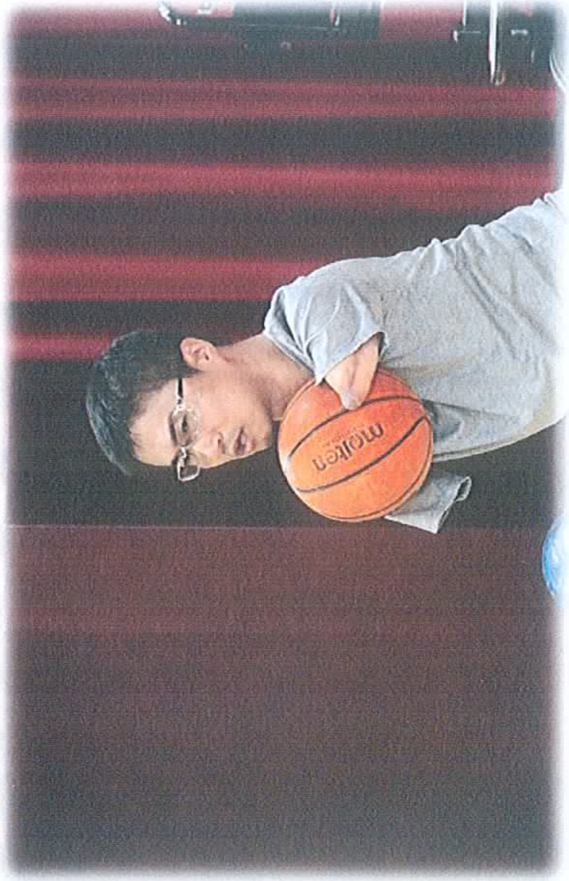
平成25年7月

みなさん、7月に入りましたね。今ごろは1学期のまとめをしているころでしょうか。4月から学んだことをしっかりおぼえて、次につなげていくことが大切ですね。

上海日本人学校の子どもたちも、1学期のまとめをがんばっています。今年はすごくアツイ夏ですが、アツさにまけずにがんばっています。

つい先日、日本から「乙武洋匡（おとたけひろただ）さん」という方が来てくださり、とてもすばらしい話をしてくださいましたので、みなさんにもお伝えします。

みなさんは、この方をしっていますか？「五体不満足」という本を書き、東京都で先生のけいけんもある方です。この乙武さんは、生まれつき手足が短く、いろいろと苦労されたのだろうと思いきや、とても前向きな性格で、さまざまなことにチャレンジしてきたそうです。ペットボトルの水を飲んだり、字を書いたり、さらにはサッカーやバスケットのドリブルまで見せてくれました。



いろいろとできることを次々と見せてくれた乙武さん。でも始めからできたわけではなく、練習に練習を重ねてできるようになったそうです。そこから私たちに伝えてくれたことは、

あきらめずにできるようになるまで努力することの大切さ

でした。これからも、できることがどんどんふえていくよう、がんばってくださいね。